

発行所

一般社団法人 大阪北区歯科医師会

大阪市北区南森町1丁目4番28号
プールパール南森町205号室

TEL(06)6363-0016 FAX(06)6363-0046

2018年新年号

ほくし

年頭所感

大阪北区歯科医師会 会長 大塚 俊裕

迎春



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には、おすこやかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の総会にて二期目の大阪北区歯科医師会の会長に就任させて頂き、早半年が経過いたしました。

当会の伝統であります「和を以て貴しと為す」の精神をモットーに、会内融和につとめ、新たに中谷理事、西川理事が加わり、新執行部のメンバーと共に意欲と情熱をもって会務を遂行しております。

初めて会長に就任させて頂いた二年前から黒川相談役、高麗相談役が十

八年間築かれてこられたスローガンを継承してまいっております。

一、執行部一丸となった会員の方々のための円滑な会務執行

一、明るく、活気ある歯科医師会の推進

一、会内融和

一、伝統の継承

一、会外との緊密な連携

以上の項目を念頭に置き、

執行部のメンバーと共に意欲と情熱をもって会務に携わってまいりました。会員の皆様の温かいご理解とご協力のもと、大過なく事業を進めさせて頂いておりますことを役員一同、心から感謝いたしております。

昨年の事業を振り返りますと、学術部では奥野理事を中心に、三月八日に阪大歯学部の前田芳信教授をお招きして、「使いたくなる義歯を提供するには」をテーマに、そして八月

五日には台風五号が迫ってくる中、阪大歯学部の村上伸也教授をお招きして「歯周組織再生剤リグロスの薬理作用と使用方法について」をテーマに学術講演会を開催しました。

医療保健部では天羽常務理事を中心に、一昨年の四月から昨年の一月まで十回にわたり、事務所にて医療保険ゼミナールを開催し、参加者がひざを突き合わせて医療保険の勉強をいたしました。現在、三月の診療報酬介護報酬の同時改訂を踏まえて、四月以降の講習会を準備中です。

広報部では若澤理事を中心に、広報部員が一丸となってタイムリーに「ほくし」を三回発行いたしました。

医療管理部では九月二十一日、新理事の西川理事が中心になって、阪大歯学部の林美加子教授をお招きして「成功するコンボジットレジン修復」理論からテクニク及び器材選択のヒントまで」というテーマで医療管理講演会を開催いたしました。

福祉部では國田理事を中心に、六月に北区の恒例行事で二八年目となります長寿の会「みおつくしの会」を開催し、長年にわたって支部を支えてくださった諸

先輩方の貴重なご意見を頂戴しながら親睦を図り、十月には会員懇親会を開催し、会員相互に懇親を深めていただきました。

四人に一人が七五歳以上の後期高齢者、三人に一人が六五歳以上という超高齢社会となる二〇二五年問題対策の「地域包括ケアシステム」の一翼を担うため、当会も樋口常務理事をはじめ地域医療部が中心になって、昨年四月から在宅歯科ケアステーションを当会事務所に開設し、北区六師会と連携して訪問歯科診療のニーズに答えられるように努力しております。

また迫りくる超高齢社会に対応して、大阪府歯科医師会のご尽力により昨年の四月から大阪府歯科医師会会員診療所のみで受診できる大阪市在住の七五才以上の後期高齢者に対する歯科健診が実施され、今年の四月からは大阪府在住の後期高齢者に枠が広がります。この健診も大阪市内の健診と同じく、大阪府歯科医師会の会員診療所のみでしか受診できません。

また北区の行政に対して旧の北区と大淀区が一緒になって事業を行うことが多く、他支部では三師会ですが、北区では黒川相談役の

時代に北区六師会が設立され、旧の北区と大淀区の意思の疎通を図る組織はご存知だと思います。

特に今期は新たな試みとして、北区大淀歯科医師会と歯科医師会相互に意思の疎通を図り、同事業の検討、学術講演会などの相互参加など北区民に対して歯科としての地域医療が向上するように積極的に取り組んでおります。

今後も年々進んでいく超高齢社会に対して対応していけるように、関係官庁と連携を密にして北区六師会、デンタルファミリーであります歯科技工士会、歯科衛生士会と手をたずさえ努力してまいります。

本年も執行部一丸となつて会務に全力を尽くしてまいりますので、どうか旧に倍するご指導ご鞭撻とお力添えを頂きますようお願い申し上げます。

本年が会員の皆様方にとりまして良い年になりますよう、心から祈念致しまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



年頭所感

一般社団法人
大阪府歯科医師会
会長 太田 謙司



謹んで新年のお慶びを申し上げますとともに、本年が会員の皆様、ご家族にとりまして実り多く、また多幸年となりますことを、心からお祈り申し上げます。

四期目の会長職を拝命してから早半年が経ちましたが、歯科界は日本歯科医師会を中心として、現在の超高齢社会を見据え、診療現場で実態に即した新たな病名を考案しつつ、また新たな技術や薬剤の保険導入を行い、全身の有病者や高齢者特有の口腔機能を改善するための努力を重ねて来ました。未だ現場で矛盾を感じたり、設定点数の低さに多大な不満が有ることを思うと、その改善のためには不断の努力が必要であります。健康長寿の延伸が叫ばれる中、虚弱・機能障害により我々の診療所へ通えなくなった方々が増えてまいり

ました。自院で訪問診療へ対応される方、地区歯科医師会に対応する方法等、いづれにとつても多職種連携は必要であり、今まで以上にその重要性が問われる所であります。

治療とともに、大きな意義付けされるものに口腔ケアがあります。急性症状が発現していない平時に、いかに患者の口腔の健康を管理するかが、我々歯科医師に求められています。さらに感染対策・事故対策・院内労務への対応等、会員の先生方が負う使命は増大するばかりです。

社会情勢に目を向けますと、政府は国民皆保険制度を守ると言い続けていますが問題は中身です。いわゆる混合診療を拡大させ、民間保険の枠を広げようとしています。即ち、公的保険適用の範囲を縮小する方向です。又、レセプト審査についてもコンピュータを今まで以上に駆使し、我々の裁量権を抑え込もうとしています。これらの点には厳しく注視していかなければなりません。一方、政府が閣議決定し

た「骨太の方針二〇一七」では「口腔の健康は全身の健康にもつながることから、生涯を通じて歯科健診の充実、入院患者や要介護者に対する口腔機能管理の推進など歯科保健医療の充実に取り組む」と明記されたことは、この間の我々の主張を取り入れたものであり、評価に値すると思います。本年も含め、今後の具体的政策の実行が重要であることは言うまでもありません。大阪府歯科医師会は府民への歯科的貢献を実践すると同時に、会員の先生が良質で安全な診療に専念できるように執行部一丸となって取り組んで参ります。本年も御指導御鞭撻として御協力を宜しくお願いし、年頭の所感といたします。



新年のご挨拶

大阪市
北区長 上野 信子



新年あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかに輝かしい新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。平素より市政・区政の各般にわたり、格段のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、北区の豊かな地域資源に注目し、小・中学生を対象に、能楽や上方落語などの文化芸術体験を行ったり、動画制作ワークショップで区民のみなさんが制作した地域の魅力映像作品を「ユーチューブ」で紹介したり、北区の魅力を写真できりとった「インスタグラム」を始めるなど、さらなる魅力発信に力を入れてまいりました。

また、北区役所全職員による、総合的な防災訓練を行うなど、災害時対応の強化に努めました。そして、御堂筋八十周年を記念した

イベントの開催や、二〇二五年の万国博覧会を大阪に誘致する活動を、みなさんの協力のもと、活発に行ってまいりました。

健康増進施策に関しましては、昨年末に二〇一八年度から二〇二二年度までの六か年を計画期間とする大阪市健康増進計画「すこやか大阪21(第二次後期)」(案)を取りまとめ、現在パブリックコメントを実施しているところでございます。「全ての市民がすこやかで心豊かに生活できる活力あるまち・健康都市大阪の実現」に向け、「ライフステージに応じた生活習慣の改善」と「健康を支え、守るための地域づくり」に努め、「生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底及びこころの健康づくり」に取り組みすることで「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」をめざしていくこととしております。

とりわけ、歯・口腔の健康は、健康で質の高い生活を営む上で基本的かつ重要な役割を果たしていることから、乳幼児期から

高齢期までの各ライフステージに応じた適切なう蝕、歯周病、歯の喪失予防を推進してまいります。

北区におきましても、各種歯科検診・健康調査事業や乳幼児歯科健診・「よい歯のコンクール」などの事業実施や「北区みんなの健康まつり」における普及啓発活動など、大阪北区歯科医師会会員の先生方のご協力のおかげで円滑に取り組みが推進できておりますことに対しまして改めて感謝を申しあげる次第でございます。

今年も引き続き、全職員とともに、区民のみなさんとの対話を大切にしながら、一つ一つ確実に取り組むとともに、さらなるサービスの向上をめざし、チャレンジしてまいりますので、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたりまして、大阪北区歯科医師会のますますのご発展と皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申しあげまして、新年のごあいさつといたします。



新年のご挨拶

大阪市北区保健福祉センター
医務主幹 澤田 好伴



新年あけましておめでとうございます。

大阪北区歯科医師会の皆様方におかれましては、清々しい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、平素は北区保健福祉センターの保健衛生事業や、区民の歯科衛生の向上のためにご協力を頂きありがとうございます。

さて、近年歯周病に対する関心が高まっております。歯周病は単に「口の中」だけの問題ではなく、糖尿病など全身の様々な病気と関係しています。歯周病を予防することは、全身の生活習慣病を予防することにもつながります。歯周病は歯周病菌が関与する感染症ですが、では、そもそも細菌というものはどのようなようにして発見されたのでしょうか？

世界で最初に細菌を自分の眼で見て記録を残したのは、一六三三年生まれのレー

ウエンフックというオランダ人で、「微生物学の父」と言われているそうです。

彼は織物商で、織物を調べる拡大鏡のレンズを磨くことが趣味でした。そのうち、独学で顕微鏡を造るようになり、ついには生涯に五百

台もの顕微鏡を制作し、その拡大力は最高約三百倍に達しました。彼はこの顕微鏡を通して色々な物を見、

当時、科学で最も権威のあったロンドンの王立協会に、スケッチと共に観察記録を送り続けました。「雨水一滴の中にも、莫大な数の小動物(細菌と思われる)が生きています。これほど美しい

光景を私は見たことがない。」と、感激して書いている手紙もあります。当時、眼に見えないほど小さな生物が存在する、というのは信じられないことでした

彼は五十一歳の時、次のように手紙に書き残しています。「毎朝、塩で歯を磨き、水で口をすすぎ、食後は奥歯を布で磨き、爪楊枝で綺麗にしていた。このため、私の歯は同世代の人の歯よりはるかに白くきれいだった。この様にしていた

のに、顕微鏡で見ると、歯と歯の間に小さな白い物(プラークと思われる)が付いており、その中に小動物(細菌と思われる)が見えた。私の歯は汚れていた。」恐らくこれが、口内細菌を観察した初めての記録と思われる。彼は、その後、どのようにしたら口内細菌が減るか、簡単な実験までしています。

レーウエンフックは九十歳まで生きました。当時としては驚異的な長寿です。手紙から察するに、彼は、趣味のレンズ磨きのように丁寧

に歯を磨いていたことは間違いのないでしょう。それは歯周病を防ぎ、ひいては生活習慣病をも防いでいたと考えると、歯を大事にする

ことは、昔も今も長寿の秘訣かもしれないですね。新年にあたり、そんなことを考えてみました。

最後になりましたが、大阪北区歯科医師会の益々のご発展と、会員の皆様のご多幸、ご健勝を祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

5班 大浦 寿哉
(昭和33年6月13日生)



戊午年男・年女

昭和 9年 21年 33年 45年 57年



年男

11班 佐々木 裕
(昭和33年4月29日生)



大戊年である。子供のころに大型犬と小型犬を飼っていたのだが、自分が戊年であることが刷り込まれているので、とても親しみやすかった。現在も大好きである。今年が年男というより、還暦の方が重くのしかかってくるので何ともいえない気分である。体に気を付けて、元氣な歯科医師でありたい。

還暦

5班 大浦 寿哉
(昭和33年6月13日生)



五回目の年男、世にいう還暦が巡ってきました。還暦というとい昔前までは、あたかも人生の終着点のように言われていました。現在、世間の六十代は第一線で活躍されていますし、目標にしていた諸先輩方も現役で、まだまだ追いついていないのが現状です。平成二年大阪北区歯科医師会に入会させていただいて三十九年弱、矯正歯科単科開業という特殊な立場であったため、先生方にご協力していただき、なんとかここまでやってこられました。今後は、今までの感謝の気持ちをもつて、少しでも恩返しのできればと思っています。

年男

10班 木下 秀人
(昭和33年6月24日生)



北区歯科医師会に入会し、早三度目の年男になりました。

た。多くの先輩方にお世話になり北区で何とか二六年過ぎることができました。皆様方にはたいへん感謝しております。六十歳になりますが今後とも歯科医業に励みがんばっていこうと思っております。

年男

11班 岡村 亘
(昭和57年2月21日生)



北区歯科医師会に入会させていただいてから、初めての年男です。諸先輩方からのご指導を賜り本当に感謝しております。さて、今年の干支は戊年です。「戊」という漢字は「戈(ほこ)」という漢字が含まれており、もとは作物を刃物で刈り取りひとまとめに締めくくることを表し、また、十二支の相互関係では晩秋を表し収穫の年であると考えられています。医療に携わる身として例年よりも正確で多様な技術、豊かな知識を得ていきたいと考えます。

今年の抱負

2班 森田 洋輔
(昭和57年5月22日生)



今年の三月で医院を継承して三年が経ちます。年男となる本年は公私共に充実した時間を過ごしていきたいと思っています。三年前に父を亡くし、何年かは一緒に診療していたものの、急に継承する形となり、この三年間は経営や診療など、毎日をごなしていくのに必死で余裕のない状態でした。ただ、そんな自分を周りの先輩や先生方が支えて下さり、なんとかやってくる事ができました。今後も周りのサポートに感謝しつつ、日々の診療、勉学に励んでいきたいと思っています。

私生活面では、二人目の子供が生まれる予定で、家族四人の時間もできるだけ有意義に過ごしていきたいと思っています。

年男として、自分の行動に責任を持ち健康に気をつけて、仕事の面でもプライベートの面でも、内容の濃い一年にしたいと思っています。

二〇一八年
新年互礼会開催

ヒルトン大阪
四階・真珠の間

H30.1.13

HP



一月十三日(土)、午後六時からヒルトン大阪四階真珠の間において、二〇一八年新年互礼会が、関係官公署および団体代表、議員の来賓を招き、七四名が出席し開催された。大浦専務理事が司会を務め、野口副会長の開会のことばで始まった。最初に大塚会長が新年の賀詞と参会への謝辞を述べた。西本常務理事による来賓紹介の後、上野信子大阪府北区長、本出肇大阪府北区医師会副会長、前田和彦大阪府市議員、河村達也

府歯常務理事、中山泰秀衆議院議員に御挨拶をいただいた。

続いて、木村雅英大阪府北区薬剤師会会長の音頭で乾杯して懇親会に移った。

多くの会員が来賓や会員相互と和やかに交流し楽しく時が流れていった。最後に、佐々木副会長の挨拶で閉会となった。尚、来賓各位は次の通りであった。

(順不同敬称略) 上野信子(大阪府北区長) 河村達也(府歯常務理事) 後藤修一郎(府歯理事) 井ノ内順一(府歯



連盟常務理事) 岡田克也(府歯連盟理事) 野井実親(府歯国保組合常務理事) 三輪佳子(府歯国保組合理事) 徳野浩一(大阪府北消防署副署長) 本出肇(大阪府北区医師会副会長) 松井啓祐(北区大淀南一医師会副会長) 木村雅英(大阪府北区薬剤師会会長) 辻雄三(大阪府大淀南一医師会理事) 中山泰秀(外務委員長・衆議院議員) 久谷眞敬(大阪府議会議員) 前田和彦(大阪府市議員) 山本とも子(大阪府市議員) 高山美佳(大阪府市議員) 西康文(大阪府歯科技工士会副会長) 池田和久(大阪府歯科技工士会中央北支部長) 永田節子(大阪府歯科衛生士会副会長) 泉井英子(大阪府歯科衛生士会大阪北支部長)



編集後記

前月号ゴルフ同好会の開催場所に誤りがありました。(誤)西宮高原ゴルフ倶楽部(正)伏見ゴルフ倶楽部です。申し訳ありませんでした。本年もよろしく願い致します。

パノラマ

二〇一八年が幕開けしました。今年には二月から平昌で冬季オリンピックが開催されますが、それよりも世界の注目を集めるのは、ロシアにて六月から始まるFIFAワールドカップではないでしょうか。我々が日本代表も本戦に六大会連続の出場を果たし、二次リーグではコロンビア、セネガル、ポーランドと同組で対戦することとなりました。

そのワールドカップはどの程度の関心を集めているのでしょうか? テレビ視聴者数でみると、二〇〇六年ドイツ大会では世界二四カ国・地域で延べ二六三億人、一方二〇〇八年のオリンピック北京大会が世界三二〇カ国・地域で延べ四七億人と実にオリンピックの五倍以上の人たちが熱狂するスポーツイベントと言えます。参加国がドイツ大会は三十二カ国、北京大会が二〇四カ国ということを考えると、さらに関心の高さをうかがい知ることができます。

年明け早々の成人式での「あれのひ」騒動と暗い話題が多いなか、日本代表が国民に明るい話題を提供してくれることを期待します。

(広報部・中川公貴)